

EISCAT_3D計画の進捗状況

EISCAT_3D国内ワーキンググループ
<http://polaris.nipr.ac.jp/~eiscat/eiscat3d/>

時間の都合で、前回までの発表以降の更新情報のみを紹介

EISCAT_3Dプロジェクトの体制について

2011年8月1日に Ingrid Mann 博士がプロジェクトマネージャーに着任(キルナのEISCAT本部)

現在プロジェクトエンジニアを募集中。
応募締切り:2011年11月7日(来週月曜)

詳しくは、

<http://www.eiscat3d.se/drupal/content/eiscat-scientific-association-looking-project-engineer>

その他に、

General Assembly(9名)、Technical Advisory Committee(4名)、Executive Board(5名)のメンバーを選定し、活動開始。

EISCAT_3D SCIENCE CASE



EISCAT_3D SCIENCE CASE

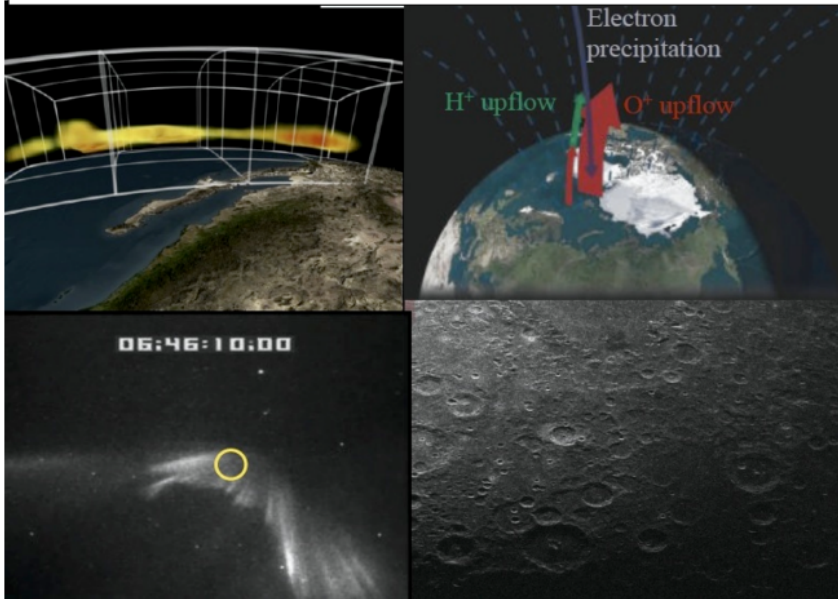
Anita Aikio¹, Ian McCrea²,
and the EISCAT_3D Science Working Group

¹University of Oulu, Finland

²STFC Rutherford Appleton Laboratory, United Kingdom

EISCAT_3D Preparatory Phase Project WP3

Version 1.0, June 2011



EISCAT_3D science caseの第1版(全87ページ)を2011年6月末にリリースし、ウェブに公開。(そのまとめ版(9ページ)も9月に公開)

<http://www.eiscat3d.se/content/deliverable-32-initial-revision-eiscat3d-science-case>

内容に関するコメントを募集中。
今後改訂予定。

EISCAT_3D SCIENCE CASE の内容:

- A. Atmospheric physics and global change
- B. Space and plasma physics
- C. Solar system science
- D. Space weather and service applications
- E. Radar techniques, coding and analysis

Appendix A: Table of EISCAT_3D radar performance requirements by science topics

その他のドキュメントなどについて

● Handbook of measurement principles

<http://www.eiscat3d.se/project/fp7/handbook>

と

● Performance Specification

<http://www.eiscat3d.se/drupal/project/fp7/PSD>

の第1版をウェブに掲載。

注：2011年10月の時点では、まだ目次情報のみ。

● EISCAT_3D計画のリーフレットの日本語版を用意。

EISCAT_3D国内ウェブページ:

<http://polaris.nipr.ac.jp/~eiscat/eiscat3d/>

に pdf 版を公開中。本会場の弁当配布横にて配布中。

EISCAT_3D計画のリーフレットの日本語版

EISCAT科学協会

EISCATは国際的な研究組織であり、その目的は太陽地球物理学および超高層大気科学に関する基礎科学研究の実施にあります。EISCAT加盟国は、毎年分担保金を拠出し、各代表機関が運営に参加してきました。現在の加盟国は、中国・フィンランド・ドイツ・日本・ノルウェー・スウェーデン・イギリスです。さらにフランス・ロシア・ウクライナが実験時間を購入する形で参加しています。



1980年代初頭の本格稼働以来、EISCATは以下に挙げる3台の高出力非干渉散乱レーダーを運用しています： UHFレーダー（受信局：ノルウェー・トロンソ、送信局：スウェーデン・キルナとフィンランド・ソダンキラ）； VHFレーダー（ノルウェー・トロンソ）； EISCATスヴァールバルレーダー（ESR； 1996年スヴァールバル諸島ロングイヤールビエン近郊に設置）。上記のUHFレーダーは、世界で唯一の3局方式非干渉散乱レーダーです。しかし、携帯電話電波の干渉により運用を間もなく終了します。



EISCATスヴァールバルレーダー

EISCAT_3Dタイムテーブル

2005年～2009年 FP6 デザインスタディ（完了）
2010年～2014年 FP7 準備フェーズ（実施中）
2014年～2015年 建設
2016年～2045年 運用

EISCAT-3Dへの参加のお誘い

このプロジェクトにかかわるなら今が好機です！EISCAT_3D開発への参加方法はいろいろあります。アイデアを送るだけでもいいですし、EISCAT協会に加盟している各国の科学機関を通してワーキンググループのメンバーになるのも良いでしょう。または所属する学会や助成機関に働きかけるという支援方法もあります。

EISCATはあなたのご意見・ご提案をお待ちしています。ご参加くださる場合は下記までご連絡ください。

EISCAT科学協会

所長 Esa Turunen
住所：Rymd-campus 1, SE-98192,
Kiruna Sweden
URL： www.eiscat.se
TEL： +46 980 79150
FAX： +46 980 79159

EISCAT国内事務局

eiscat@nipr.ac.jp (国立極地研究所用)
eiscat@stelab.nagoya-u.ac.jp
(名古屋大学太陽地球環境研究所用)
URL: <http://polaris.nipr.ac.jp/~eiscat/>

